



エコネット通信

VOL.34



サンコタケ (キノコ)。

森を 川を この里の自然を 子ども達へつなげたい！

ホームページ : <http://tono-econet.org/> フェイスブックでも情報発信中！

Morito モニターツアー 夏編

古のお山かけ再現ツアー開催！

地域の願いを背負って

森を活かした新たなブランド「Morito」。森へ誘うモニターツアーを今年度は季節毎に実施していますが、夏編として、8月26日(土)～27日(日)の2日間、「古のお山かけ」を再現するツアーを開催しました。

「お山かけ」はその地域の安全と五穀豊穡・大漁祈願として、土地を代表する若者が早池峰山をめざす昭和20年代末まで行われていた風習です。当時は県内各地の他、遠くは宮城県の南三陸地域からも来ていたそうです。

餅つき・神楽奉納後に出発

今回のツアーの一般参加者は4名。この他、同行スタッフ5名、車両スタッフ2名、調理師サポートスタッフ4名という編成。

16時に早池峰神社(附馬牛町大出)に隣接する早池峰交流館集合。その後餅つきをし、できた餅は笹の葉に包んで携行食に。そ



自作のたいまつに点火する参加者。

の後、夕ご飯をいただきながら神楽を奉納しました。昔から「お山かけ」をする人達は、大出地区に当時あった曲がり家を宿として、神楽を奉納してから出かけたそうです。

18時に、身支度を整え早池峰神社境内にある「起点」の石碑から出発。大出・大野平の集落を抜ける頃から夜が更け始めます。馬留めの手前で、かつて使った「たいまつ」に点火してみえます。この日は、ヤマブドウのものと、参加者が自作したマダ(シナノキ)のたいまつにも火をつけてみました。

全員無事に歩き通す

早池峰山への道は、薬師岳の東を抜ける通称「横通り」という登山道。馬留めから又一の滝を通り、ブナの森から、やがてオオシラビソやコマツガという針葉樹が主体の原生林となります。薬師堂で一休みし、小田越に着いたのが夜中の12時。ここで、車両スタッフが用意してくれた食事をとって休憩。いよいよ



山頂にて太陽礼拝をしました。

よ早池峰山頂を目ざしての本格的な登山となります。時折小雨が降る天候となりましたが、岩場に着く頃は雨も上がり、遠くの夜景と各地で雷の稲妻が光る様子が見られました。

午前4時30分頃に山頂に全員無事に到着。東の空は厚い雲が覆われていますが、水平線近くの雲が赤く染まり始めます。西の雲の上には、鳥海山の姿も見れました。しばし、雲の上の刻々と変わりゆく空のドラマを堪能しました。また、ヨガ講師の新田真里子さんの指導で、太陽礼拝というヨガもできました。

この日は、残念ながら太陽の姿を見ることはできませんでしたが、夜通し歩き山頂にたどり着いた達成感、かけがえのないものになりました。その後、明るくなった山を下り、起点の石に全員到着したのが、午後2時20分。歩き始めてから20時間以上経過しました。終了後の振り返りでは、参加した方それぞれに深い感動があったようでした。

モニターツアー秋編は、10月28(土)～29日(日)に開催します。参加者募集中です。



無事にお山かけを終えた参加者とスタッフ。
～早池峰神社の起点の石碑(右端)にて～

夏のエコキャンプ2023 8/8(火)～11(金)

毎夏の恒例行事となっているエコキャンプ。今年も遠野ふるさと村の裏にある張山環境保全林を主会場に、3泊4日で開催しました。参加者は小学4年～中学2年までの児童生徒19名が参加。今年も岩手大学を中心とした大学生・院生7人の他、卒業したOBも含め総勢15名のスタッフでプログラムを運営しました。森の中には、電気も水道もないため、テントやトイレ・カマド・ドラム缶風呂などを設営し、お風呂には毎日バケツリレーで水汲みをします。料理も、森で落ちている枯れ木を拾って、石を組んだカマドでの野外調理。そんな中でも、ドジョウ捕りや、シャワークライミングも体験。この他、学生スタッフが考えた、森の中でミッションをこなしていくゲームや、手ぬぐいの草木染め。3日目の夜はキャンプファイヤーで、みんな歌や踊りも楽しめました。4日間で、時々雨が降りましたが、おおむね天候にも恵まれ、子ども達には素敵な夏の思い出になったと思います。



エコキャンプでは、石でつくったカマドで料理します。



キャンプ最後の夜はキャンプファイヤーで盛り上がります！

遠野中学校2年生職場体験受け入れ 8/31(木) 9/1(金)

2日間、遠野中学校2年生6名の職場体験を受けることになり、今回はこの春から始まった森のがっこうの活動を体験していただくことにしました。初日に、生徒達にプログラムを企画してもらい、それを翌日に実践するという内容。最初に森のがっこうのフィールドを案内しながら、ここで何ができるかを考えてもらいます。その後、企画書づくり。「森でミッションをクリアしよう」という、森の中を歩きながらミッションをクリアしていくプログラムにまとまりました。翌日は午後からプログラムを開始。エコネットの関係者3人が一般参加者として来てくれて、中学生スタッフの案内で森でのプログラムを無事終えました。私たちも、まだまだ職業といえる領域に達していない中での受け入れでしたが、いろいろと学びが多く貴重な機会となりました。



職場体験に来た中学生が考えたプログラムを実施しました。

森のがっこうイベント：シャワークライミング体験会 8/5(土)

6月にプレオープンした「遠野・森のがっこう」では、通常開放の他に毎月様々なイベントを開催しています。8月は、森のがっこう近くを流れる滝川にて、シャワークライミング体験会を開催。この日は遠野市内外から大人や子ども8名が参加。ウェットスーツとヘルメットにライフジャケットを装着して川へ出かけます。この日も好天で猛暑となりましたが、川の中へ入ると気持ちよい温度。小さな滝をいくつもよじ上り、大岩から飛び込んで、大人も童心に戻りました。川から戻った後のドラム缶風呂の大好評でした。



シャワークライミングの最後はみんなでお花を作ります。

森楽倶楽部 9/2(土)

この日は8名の参加者と、宮古市川井から奥畑充幸氏を講師に迎え、薬師岳山麓にある又一の滝への登山道を歩きながら、ブナの森の自然観察を行いました。登山道に未熟のドングリが落ちていて、それを拾った奥畑氏が、映画『タイマグラばあちゃん』に出ていたマサヨさんから教えられた話を紹介してくれました。また、チチタケが出ていて、この辺の人はあまり食べないキノコですが、栃木県では珍重されているそうです。又一の滝近くでは、トリカブトの紫の花が美しく、また、ダイヤモンドソウも観察できました。帰り道では、倒木にサンコタケという珍しいキノコも見つけました(写真前頁上)。このサンコとは密教で使う仏具で、それに形が似ているからとのこと。



森楽倶楽部で、ブナの葉の説明をする奥畑氏（右端）。

活動報告（8月～9月）

山仕事ははじめの一步(入門)講座 8/20(日) 9/10(日)

8月の講座には11名が受講。この日は、薪の駅近くの雑木林にて刈り払いの実習。中には初めて刈り払い機械を操作する方もありましたが、安全な操作法を講師に指導いただきながら、笹や灌木の刈り払いを学びました。また、午後は隣接する杉林に移動して、間伐の実習もできました。9月の講座は9名が参加。薪の駅の南西にある実習林にて、最初に滑車の使い方を学びました。混み合っている植林地などで間伐をする際には、なかなか倒れない木が多いため、事前にロープをかけて滑車を2～3個使用して3倍力でロープを引いて倒すのが、手軽で安全となります。ロープワークも覚えなければなりません。何度も繰り返しながら、少しずつ技術を身につけています。

炭っこ倶楽部 9/21(木)

この日は、遠野東中学校2年生1名も職場体験として参加し、総勢5名の参加者とともに、北上市の千田淳氏(窯元・楽炭)の指導のもと開催しました。まず最初に、千田氏から炭焼きの行程や炭の利用方法などを資料を元に説明いただきました。その後、炭窯からの炭出し、炭切り、梱包、炭材の立て込み、火入れまでの体験を行いました。参加者の中には、この春に広島県から一関市に移住し地域おこし協力隊として自伐林業を実践されているご夫婦もいて、林業の副業として炭焼きもできたらと考え参加したそうです。また、中学生も熱心に炭焼き作業に取り組んでくれて、翌日は間伐やチェーンソーでの玉切り、薪割りの実習を体験することができました。

薪づくり倶楽部&森の笠地蔵プロジェクト 8/6(日) 9/3(日)

8月の薪づくりは10名が参加。猛暑の中での作業となるため、午前中は雑木林の中での薪づくり、午後木陰やタープを張るなど暑さ対策をしながらの薪づくりでした。また、この日は、森の笠地蔵プロジェクトとして、上郷町のお婆さん宅に軽トラック2台分の薪を配達しました。9月の薪づくりは、22名というこれまでにない大勢が参加。初参加の家族3名もあり、薪割りの指導を常連さん達に教えてもらいながらの作業。この日も9月というのに猛暑となり、休み休みの薪づくりでした。また笠地蔵プロジェクトでは、附馬牛の一人暮らしのお爺さん宅に軽トラック2台で薪を配達できました。

森業倶楽部 8/27(日) 9/24(日)

8月の森業倶楽部は8名が参加し、間伐材の木工づくりに取り組みました。この日も講師に、上郷町の菊池光典氏(木暮工房)に来て頂き、まだ自分が作る作品の図面が完成していない人に、製図のアドバイスもいただきました。9月の参加者は11名。この日は講師の光典さんに、新しく購入した木工道具の使い方を学びました。鉋は購入してから使える様にするために、刃を削ったりしないと、鉋台の木の溝穴が割れてしまうとのこと。分からないことが多くあります。

間伐倶楽部 9/23(土)

9月の間伐倶楽部は、山仕事講座を受講している女性1名が参加。この方は雫石町から来ていますが、薪づくりにも参加し、めきめき上達していて、頼もしい限りです。将来は、講座の指導役になれるなあと、感心させられました。



8月の山仕事講座では、刈り払い機械の使い方を学びました。



9月の山仕事講座で、滑車とロープの使い方を実習しました。



炭窯の中に入り、炭出しを体験する参加者。



暑い時期の薪づくりは、日影を利用して行います。



9月の森業倶楽部で、木工道具の使い方を説明する光典氏。

主な活動の予定(10月～11月)

月日	タイトル	内容	活動場所
10/1(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
10/1(日)	オッホーの森歩き	森での自然観察他	森のがっこう
10/2(月)	水源の森づくりプロジェクト	苗木の計測、ドングリ播種他	琴畑高原、土淵小
10/7(土)	稲刈り体験会	稲刈り・はせ架け他	森のがっこう
10/8(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	枝払い・間伐の実習他	松崎実習林他
10/9(月)～10(火)	みちのく薪びと祭りin岩手・釜石	東北の薪活動団体交流他	釜石市根浜地区
10/14(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」&森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森探検、稲刈り体験、交流会他	オッホーの森他
10/15(日)	秋の森フェス2023in遠野	各種体験会、マルシェ他	薪の駅、周辺の森
10/22(日)	森業倶楽部	ツル細工(カゴづくり)	薪の駅
10/28(土)～29(日)	moritoモニターツアー・秋編	森でのキャンプ、アートワーク他	オッホーの森他
10/28(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
11/4(土)	森業倶楽部	晩秋の森の自然観察	松崎実習林
11/5(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地藏P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
11/11(土)	森のデイキャンプ「おひさまのねっこ」&森のようちえん「どんぐりのぼうし」	森探検、脱穀体験他	オッホーの森他
11/12(日)	山仕事はじめの一步(入門)講座	枝打ち、間伐の実習他	松崎実習林他
11月中旬	炭っこ倶楽部	炭焼き体験会(遠野北小5年)	薪の駅炭窯
11/25(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
11/26(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅

【編集後記】

9月中旬になり、やっと秋らしくなってきた遠野郷。例年より1ヶ月は遅れたように思います。地球温暖化を通り過ぎ、沸騰化などという言葉も飛び交います。一人一人が、真剣に暮らし方を見直す必要に迫られているのだと思います。

ヒトと自然のあり方を問い直す機会の一環として、森に市民を呼び込もうと「森フェス」を昨年より開催しています。今年は夏に続いて、10月15日にも開催します。特別ゲストには、岐阜県立森林文化アカデミー教授のナバさんが来てくれます。海外の自然体験教育の事例を交えたお話や、いっしょに森で遊ぶプログラムもあります。お待ちしております。(千葉)

発行:NPO法人遠野エコネット
令和5年10月3日発行
岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530
Tel&Fax 0198-64-2250
E-Mail:pahaya@tonotv.com



基礎工事がほぼ終わり、10月には木工事がスタートします。(9月23日撮影)

6月のプレオープンから4ヶ月が経過した「森のがっこう」。これまでに、田植えや森歩き、シャワークライミング、ツル細工などのイベントを開催してきました。また、「ウタリのお茶会」というイベントも開催していて、そこではお茶を飲みながら、森のがっこうのこれからについて、ゆったりと語り合う場

遠野・森のがっこう便り その3

となっております。

イベント以外にも、家族で訪れてのんびり過ごしたり、中には、森のがっこう入り口の側溝に詰まった泥出しを熱心にやってくれる頼もしい常連さんもあります。

また、「オッホーの森の家」の工事も着々と進んでいて、建物の基礎工事が9月でほぼ終了となりました。この後は、いよいよ木工事が始まります。10月末には、棟上げの予定です。できたら、昔のように餅まきなどしたいと思っておりますので、ご都合着く方は餅拾いにお出で下さい。

森のがっこうのイベントや活動の様子は、インスタグラムにアップしますので、見れる方はフォローして、遊びにいらして下さいませ。